

ほん・本・ブック（修練会）

公益財団法人豊島修練会 2016年8月26日号（通算第10号）

子どものほん（子ども、小学生&中学生）

「家族のきずな」「家庭のルールづくり」「生活しゅうかん作り」「早寝早起き朝ごはん」を親子で話し合ったり、いっしょに取り組んだりするために、「3行の詩」を募集しました。小学生の部で優秀な作品として、選ばれたものを1つだけ紹介します。

★小学生の部・甲斐瑠々華（かいるるか）さんの作品

「お母さんが教えてくれた、「かがみはさきにわらわない」いつも心においているよ」
どのような意味か分かりますね。あなたも、3行の詩を作ってみましょう。



大人の本（パパ&ママ、ジジ&ババなど）

「楽しい子育て全国キャンペーン～家庭で話そう！我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ～3行詩優秀作品集」（平成28年4月）文部科学省HPから無料でダウンロードできます。

公益財団法人方針日本PTA全国協議会・文部科学省家庭教育支援室が、共催して、「家族の絆」「家庭のルール作り」「生活習慣作り」「早寝早起き朝ごはん」を親子で話し合ったり、いっしょに取り組んだりするために、「3行の詩」を募集しました。それを冊子にまとめたものです。親子で作って楽しんでみてはいかがでしょうか。

★中学生の部・青木嶺斗さんの作品

「泥棒ですか、お母さんのツッコミ、ただいま言うまでやりなおし」

★一般の部・庭野知子さん

「あなたの声に、#半音上がってわかる隠しごと、b半音下がってすぐわかる悩みごと、母の耳は絶対音感」

学校の先生のブック（小学校・中学校の先生）

八百坂修・片山紀子・原田かおる著「教師のためのコーチング術」学事出版本体1700円
昔の教師は、子どもが悪いことをした時や約束を守らなかったときは、大声で怒鳴りつけるのが普通だった。それで、子どもは反省したし、保護者も当然だと思っていた。

しかし、現在はそのような教師は皆無であろう。とはいっても、依然として、違法である体罰をしたり、欠点探しをして叱ってばかりいる教師は、ほんの一部だが今もいて、時々新聞やTVで報道されることがある。

本書は、教師の仕事は、子どもの良い点を見つけてほめて自信を持たせ、もっと良くなるように必要な指導をする「指導者」としての役割がある。その一方で、最近、その子のいい点や個性を尊重しながら伸ばす「コーチ」の役目が重視され、求められるようになってきている。さらには、子ども主体の学習や生活をサポートする調整や進行役としての「ファシリテーター」としての役割も注目されている。研究し身に付けたい事柄である。

★備考★[成美教育文化会館]で検索すると、「かけはし」のほか「メッセージ」「Q&A」「ほん本ブック」をはじめ「一字荘」「至楽荘」「会館の会場貸出」など様々な情報が閲覧できます。ご利用ください。

